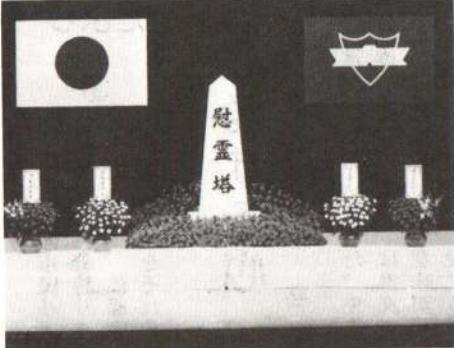


“非核・平和宣言都市”大館市 祈る恒久平和



◇平和祈念の黙とう

8月6日と9日正午

「非核・平和都市宣言」をした当市では、原爆死没者ご冥福と恒久平和を祈念して、8月6日と9日の正午から1分間サイレンを鳴らしますので、市民の皆さんのお願いです。

◇平和祈念

戦没者慰靈式

当市では、戦没者ご冥福をお祈りし、再び戦争の惨禍が起こることのないよう平和の決意を新たにするため、平和祈念戦没者慰靈式を挙行いたします。

とき・8月14日(金)午後1時

ところ・市民文化会館大ホール

※市民の皆さんのお願いです。

欣次郎よ、その後いかにしているか。
相別れてより早や六年になつた
な、二十四の正月、お前は二十一
の正月だった。苦惱した函館棧橋
がお前との最後の別れであつた。
歳月は流れ流れて早や六年。俺は
お前と母との肝入りで妻をもらつた。栄美子が生れた。その間お前は
相變らず苦闘してくれた。運命は
いまだわれわれと一緒にしてはくれないが、最近われわれにも帰
國の心がつきはじめてきた。妻は
も帰るようになると言つてきかなか
つた。突然召集令が下つた。翌
日さつそく荷造りして満智子を
帰したしだいだ。むろん自分も生
還を期さなかつた。入営したが、幸
か不幸か数回の補充にもれ、今日

にいたつた。しかるにいよいよ出
動命令が出た。八日前八時三十分、台北駅を出発する。南京攻撃
に間にあわせるのだ。
今、手紙を書くにおよんで、真
に貧しき姿にて相別れた函館の
埠頭だ。それまで不甲斐なくも
何分の手助けもできずにすごし
額面千円だけだ。お前の名義にな
った。父母弟妹を頼む。貧しき兄よ
り財とてなし。千代田生命保険の
丈夫、払うとのこと。もし戦死した
ら受け取つてくれ。満智子も話して
了解させてある。お前に對して、
ます責任の増しつつあるこの時、

弟 欣次郎殿
十二月六日 兄より

後はお前に頼むよりほかに仕方
がない。どうかよろしく頼む。苦
労に疲れた両親をも頼む。まだ力
足らず、一つの孝養をも尽くし
えなかつた。武運、強く生還すれば
充分なる孝養をなすが、敢て生還
を期せぬためお前に頼むしだいだ。
さらば達者で暮らせ、俺は守つ
ている。

内田欣一郎さん

長兄として誠に心残りだ。無一文
で北海道の広野をすぎ、樺太に渡
つた二人の姿を思い浮べる。どう
ぞ達者で内田家の復興を計つてく
れ、俺は戦死したら草葉の陰で果
しえなかつた俺の分を尽くすべく
お前を守る。

中学校に入るべくして入れずに
しまつたお前、欣三郎、女学校に
入れなかつた徳子、また、耕作に
対してせめて少しても資産を造つ
てその不運に報いてやりたい心持
ちの兄ではあつたがことここにい
たつた。

後はお前に頼むよりほかに仕方
がない。どうかよろしく頼む。苦
労に疲れた両親をも頼む。まだ力
足らず、一つの孝養をも尽くし
えなかつた。武運、強く生還すれば
充分なる孝養をなすが、敢て生還
を期せぬためお前に頼むしだいだ。
さらば達者で暮らせ、俺は守つ
ている。

十九日には、市民文
化会館で「はだし
のゲン2」の上映
し、観賞した方たち
は、改めて、平和の
尊さを感じていま
した。

また、十八日、十九

日中央公民館を会場

に行われた原爆写真

展・平和図書コーナーでは、広島・長

崎に投下された原爆により破壊され

た建物や被爆した人たちの写真を公

開され原爆の恐ろしさを訴えました。

この平和を願う市民のつどいを開
催しました。

市民団体である大

館・平和を願う市民

の会では、七月十八

日、十九日の両日「平

和を願う市民のつど

い」を開催しました。

原爆写真展(中央公民館)

◆原爆写真展(中央公民館)

◆原爆写真展(中央公民館